

インフルエンザウイルス抗原定性検査 ご依頼について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、今冬のインフルエンザウイルス抗原定性検査につきまして、下記のとおりご案内いたしますので、よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

敬白

記

- 項目名 **インフルエンザウイルス抗原定性** (項目コード: 3981, 3982, 3983)
※検査案内未掲載
- 受託開始日 **令和2年11月2日(月) 受付分より**
- 依頼方法 D依頼書の備考欄へ「インフルエンザ抗原定性」とご記載下さい。
- 検査材料 1) 鼻腔拭い液 2) 咽頭拭い液
3) 鼻腔吸引液 (吸引液に浸した綿棒をご提出下さい)
* 咽頭拭い液での検出率は低い傾向にあります。
* うがい液は検査できません。
- 検査結果 A型、B型の各々について (+) (-) でご報告いたします。
- 検体採取容器 専用容器となりますので、担当営業部員へお申し付け下さい。
- 検体採取法



鼻腔拭い液：外鼻孔から耳孔を結ぶ線を想定し、正面から鼻腔底に沿って静かに綿棒を挿入し、行き止まりの最奥部（上咽頭）の数ミリ手前で止めます。鼻腔粘膜を軽く擦り、綿棒を回転させながらゆっくりと引き抜いて下さい。

咽頭拭い液：綿棒を口腔から咽頭に挿入し、咽頭全体（咽頭後壁、口蓋、扁桃）をしっかりと数回擦過します。この時、口蓋垂を跳ね上げるようにして後ろの上咽頭まで拭きます。

鼻腔吸引液：吸引トラップの片方の部分を吸引ポンプに、もう片方の管を鼻腔の最奥部までしっかりと挿入し、吸引ポンプを陰圧にして採取します。採取した鼻腔吸引液に綿棒を浸して吸収させ、その綿棒を提出して下さい。

以上

* お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション

2020-A-043